

あすなる

北部地区農村環境改善センター

発行 青森市北部地区
農村環境改善センター
〒038-0054 青森市奥内字宮田 41-3
TEL 017-754-2244
FAX 017-739-6248



講座レポート

JA青森奥内地区女性部の「おはぎづくり」 (9/3)



秋彼岸を控え「JA青森奥内地区女性部の『おはぎづくり』」講座が開催されました。講師はJA青森飛鳥町会女性部部長の瀧本多恵子さんです。青森市内から12名(男性2名、女性10名)が参加しました。次のような手順でおはぎを作りました。

- ① もち米を洗う→ 炊飯器にもち米を入れ、適量の水を入れて炊く



* 炊飯器のスイッチが切れたら、5分程度蒸らし、ボールに移す

- ② あんこ360gを4等分し(1人分30g)丸める



- ③ すりこぎを水で濡らし、ご飯の粒が残るくらいつぶす(半殺し)



* つぶしすぎると粘りが出すぎてNG

- ④ つぶしたご飯を4等分し、手を水で濡らし(1人分30g×3個)俵むすびのように握る



- ⑤ ラップを準備し、丸めたあんこを1個ずつ置いて手で平らにする。その上に餅をのせて包み込む



参加者からは「小豆を煮る時にザラメを使うことが新しい発見でした」「早速家に帰っていろいろなおはぎを作ってみます」「家族に美味しいおはぎを作ってあげます」等の感想をいただきました。

講座レポート

身近な災害雪対策 道路の除排雪

(9/13)



令和3年度の豪雪(令和4年2月28日最深積雪149cm)により日常生活に支障をきたした日々が記憶から抜け落ちていく昨今。青森市の雪対策を話し合うための一つの契機として開催された講座です。講師は青森市道路維持課主幹三浦大助さんです。講義の概要は下記の通りです。

青森市の雪対策(青森市民とともに進める雪処理に関する条例)

- 1 除排雪実施体制 → 11月1日から除排雪対策本部を設置
- 2 除排雪事業者への出動指令 → 市の指令を原則。緊急時は事業者の自主判断も可
- 3 除排雪以外の雪対策 → ・融雪施設設置支援制度 ・流・融雪溝等の整備 ・融雪歩道の整備 ・市民雪寄せ場
- 4 市民協働による除排雪 → ・青森市ボランティアポイント制度 ・地域コミュニティ除排雪制度 ・自主的な雪処理への支援(小型除雪機貸与) ・高齢者等への雪処理支援(屋根の雪下ろし費用の一部助成、ボランティア等による間口除雪や屋根の雪下ろし、豪雪災害時には市職員によるスノーレスキュー隊派遣)
- 5 除排雪指令状況の公開 → 冬期間(R.4.12.1~R5.3.15)午後5時頃、その日の除雪作業状況(PM.9~AM.6)を、3段階で知らせる。
- 6 雪に関する市民からの相談 → 雪に関する市民相談窓口(8:30~18:00) ・まちレポあおもり(アプリ)による相談

講義後の質疑応答では除排雪に対する参加者の熱い想いが語られ、今年も確実に訪れる冬の季節に対する心構えを新たにしました。



質疑応答に熱心に耳を傾ける参加者



昨年の聴く旅「台湾」に続き、今年は聴く旅第2弾「タイ&ベトナム」が開催されました。講師は留学生の青森中央学院大学4年 ラバイペット パティパット（男性：タイ人）さんと4年 ド ゴックフォン チャム（女性：ベトナム人）さんです。若い二人の口から語られるタイやベトナムの話に時間の経つのも忘れて聞き惚れてしまいました。

タイの話の中で特に印象に残っていることは、①タイの首都は通称バンコク。正式名は非常に長い。②仏教王国であるのでお寺が非常に多い。③熱帯の海や山など美しい自然が豊富（チェンマイ・プーケット等）④日本は福祉政策が充実しているので、日本に親を連れてきたい。⑤スパイシーでエキゾチックなタイ料理（パッタイ：タイの焼きそば、トムヤンクン）等

ベトナムの話の中で特に印象に残っていることは、①世界遺産が豊富（北部のハロン湾、旧ハノイ一タンロン王城遺跡、中部のチャンパ遺跡のミーソン聖域、古い街並みが残るホイアン等）②54 の民族からなる多民族国家。③女子高生は週に1度ベトナムの伝統衣装「白のアオザイ」を着ることになっている。④バイクの移動が一般的（保有率 86%）⑤屋台が多い（フォー、パインミー、パイセンセオ）：基本朝食は外で食べる。

最後の質問コーナーでは、「初めて雪を見てどう思いましたか」「日本で生活していて一番びっくりしたことはなんですか。タイの平均寿命は短いといいますがどれくらいですか」「将来何になりたいですか」「タイやベトナムの初任給はいくらくらいですか」「今どこに住んでいるのですか」等数多くの質問が寄せられ、留学生たちは参加者が納得できるまでゆっくり丁寧に答えてくれました。タイやベトナムへの関心をさらに深める講座となりました。



講師の話に熱心に聞き入る参加者

業務員のコーナー

これまでに、こんな講座が開催されました！ 担当 吉田



11/6 (日)「権現舞」と「居合術」

昨年に引き続き、北東北無形文化遺産実践研究協会代表 下田雄次氏を講師にお迎えして開催しました。獅子踊りの所作は日本の伝統的な動きからきています。居合術を披露いただくことで、日常生活における身体技法を詳しく学ぶことができました。参加者からは「居合術を目の前で見ることが出来ました。とても感動した」「権現舞。初めての話。面白かった」といった声が聞かれました。

編集後記

市民センターまつりが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3年連続で今年も中止となりました。市民の皆様の学習成果の発表の場を紹介することができませんでした。来年度、市民センターまつりが開催できることを願っています。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164 (内線 36)
北部市民センター担当：須藤、横内